

ま え が き



未曾有の被害をもたらした東日本大震災と原発事故から10年が経過しました。未だ復興途上のなか、コロナ禍によるデジタル化の加速や人口減少が一層進むなど、社会情勢は更には急速かつ大きく変化しています。

本市では、今年度から新しいまちづくり指針「第6次福島市総合計画まちづくり基本ビジョン」をスタートさせ、市民との共創により、概ね10年先の県都ふくしまの姿として「人・まち・自然が奏でるハーモニー 未来協奏(共創)都市～世界にエールを送るまち ふくしま～」を目指し、5つの重要な視点「福島らしさを生かした新ステージの形成」「持続可能性の実現」「多様性の尊重」「県都としての責務」「ポストコロナ時代を見据えた社会づくり」を盛り込み、各重点施策を推進してまいります。

令和3年7月

福島市長 木幡 浩



「福島市の教育」は、本市教育の各分野にわたる現状について把握できるよう編集しており、前身の「福島市教育要覧」の発刊から本年度で70年目を迎えます。

今年は、新しい「福島市教育振興基本計画」のもと、各施策を着実に進めてまいります。

学校教育では、豊かな心の育成を施策の最上位に掲げ、多様性を認め共に生きる心の育成を進めるとともに、子どもたちの「生きる力」を培い、未来を切り拓く力を育てます。

生涯学習では、生涯にわたって生き生きと学べる学習機会の拡充と環境の整備を推進してまいります。

本誌が、本市教育を知る手がかりとして、教育関係者はもとより、市民の方々にも一層活用されるよう期待いたします。

令和3年7月

福島市教育委員会教育長 古関 明善